

伝承をはじめとする清和文楽再生拡大事業

せいわぶんらくにんぎょうしばいほぞんかい
【団体名】清和文楽人形芝居保存会

地域の現状・課題（取組みの背景）

- 熊本県の重要無形文化財である「清和文楽」は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、県内外での公演機会が激減し、技術伝承の機会が失われていました。また、近年、清和文楽人形芝居保存会会員の高齢化が進み、現在の人員体制では、清和文楽の存続・伝承に大きな危機感もありました。
- このような状況の中、「伝承をはじめとする清和文楽の再生」をテーマに「創造」・「展開」と段階的に事業を実施してきました。
- 令和5年度は、担い手の確保及び育成を継続的しつつ、清和文楽を県内外でPRし、関係人口の創出・拡大に取り組みました。

取組みの概要

◆担い手確保及び育成の取組み

- ・清和文楽ワークショップの開催（町内外）
- ・指導者育成・視察研修（兵庫県・大阪府等）

◆清和文楽のPR活動

- ・県内外でのPR活動（東京、大阪等）
- ・PRグッズ・PR動画の作成



文楽のPRポスター

取組みの成果・現在の取組み状況

- 喫緊の課題である担い手の確保・育成に関しては、ワークショップへの継続参加によるステップアップや、実際の舞台に向けた稽古が始まるなど、着実に後継者育成へと繋がりはじめました。また、県外に向けて積極的なPR活動を行うことができました。
- 通常演目については、毎月第2・第4日曜日を中心に年間100回程度実施し、加えて、「ONE PIECE」×清和文楽『超馴鹿船出冬桜（ちょっばあふなでのふゆざくら）』の定期公演について、令和9年度までの5年間実施する予定としています。また、令和6年度は、県内の小中学校（10校）への出張公演も予定しています。
- 今後も引き続き、「清和文楽」を継承していくための担い手の確保及び育成に関する取組みを継続していきます。また、山都町は、九州中央自動車道「山都通潤橋」の開通などにより、他地域からの注目度も高まっているため、これを契機とし県外へのPR活動により一層力を入れ、誘客及び関係人口の創出・拡大を図り、地域振興に大きく貢献する事業を展開していく予定です。



ワークショップ



東京でのPR活動



視察研修